日本漢詩　―　現代語訳　―

富士山

鶴に乗った仙人も来て遊ぶという、雲の上にまで突き出した山の頂。
久しく神秘的な竜が棲むという、洞穴の中の深い淵。
（山を覆う）雪は扇に貼る白い練り絹地のようであり、立ち上る煙は柄のようである。
まるでこれは、白扇を逆さまに吊り下げ日本の空高くに懸けたかのようである。

烏児塞宮

思えばかつて王や皇帝がこの離宮をいくたびも訪れ、
美しき王妃たちとともに歌い楽しんだのであった。
錦のとばりは当時のままだが、ここにいた人は誰もいない。
ガラス窓の外には、夕陽の光があふれ照り映えている。